

ウクライナ講演会 “国際秩序破壊、プーチンの蛮行”

ロシアがウクライナに侵攻して半年。東部のロシア系住民を、ネオナチの政権軍から守るためには非軍事化が必要と、空港や軍事施設へのミサイル攻撃を始めたが、政権を転覆させる目的には失敗。双方の消耗戦が続けられてきた。バイデン米大統領は「プーチン大統領は侵略者」と非難。欧州連合（EU）と石油禁輸など経済制裁と、武器供与でウクライナを支援してきた。核兵器も辞さないと、脅しをかけ、軍事力で上回るロシアは、クリミア半島の北側、ヘルソン州、東部ドンバス地方で支配地を拡大させた。ウクライナのゼレンスキー大統領は徹底抗戦を呼びかけ、その情熱からEUの加盟候補国入りを果たした。プーチン氏を戦争犯罪で裁けるのか。国際秩序を破壊する蛮行、NATOの東方拡大問題などを考える。



講師 小塚 哲司氏（中日新聞元論説委員）
とき 令和4年8月21日（日）
10:00～12:00
ところ 北名古屋市健康ドーム 1階研修室
開催形式 ハイブリッド開催（会場聴講＋オンライン聴講）
定員 約30名
参加料 無料（事前申し込みが必要です）

お問合せ / お申込み先

北名古屋市国際交流協会

〒481-8531 北名古屋市西之保清水田 15 番地

☎0568-22-1111 E-mail info@kitanagoya-kiia.jp

